

岸町二丁目防災マップについて

この地図は、岸町二丁目町会の皆様が調査し、作成したものです。地震や火事などの災害が起きたときに役立つ避難場所、消火器、消火栓や病院などの位置を載せていますので、お住まいの周りや避難場所への行き方などを確認してみてください。

また、以下の項目についても調査しましたが、プライバシーに配慮しマップには載せていません。大きな地震などの災害の際には危険を及ぼす可能性もありますので、チェックしてみてください。

○塀、門柱、室外機などに乗っていた植木鉢－4箇所

きれいな草花は通る人の目の保養になりますが、不安定な場所に置くと地震や強風のときに危険です。落ちないように固定する等の配慮をお願いします。



○その他

電柱が傾いている（2箇所）、消火器の前に植木鉢が置いてあって出しづらい（1箇所）、非常時の抜け道がない区域があるなどの指摘がありました。

心掛けたいこと（地震時と平常時）

【地震時は】

○まず自分の身を守りましょう

大きく揺れているときには、立っていることさえ困難です。無理に動こうとせず、机の下に入ったり、家具から離れたりして揺れがおさまるのを待ちましょう。



○次に火の始末

大きな揺れがおさまったら、あわてず落ち着いて火の始末をしましょう。

○家族の安全を確認しましょう

家族の安全が確認できたら、隣近所の安否確認をして助け合いましょう。

○大きな火災の時は、「十条台・北区中央公園一帯」または「公園五丁目団地」に避難しましょう

地震などによって大きな火災が起きたときには、「十条台・北区中央公園一帯」または「公園五丁目団地」(避難場所)に逃げましょう。火災の危険がなくなって、家が燃えたり壊れたりして戻れないときに、十条台小学校(避難所)に行きましょう。

○安否確認は災害用伝言ダイヤル171

地震直後は、回線が混雑して電話がつながりにくくなっています。NTTの災害用伝言ダイヤル171にかけると、伝言を録音したり聞いたりすることができます。忘れてイナイ(171)と覚えましょう。(携帯電話の災害用伝言板に安否情報やコメントを登録することもできます)



【普段から】

○日頃から安全点検をしましょう

住まいの耐震補強や家具の転倒防止をしましょう。また、家から避難する場合の道を何パターンか調べておけば、いざというときにあわてずにすみませす。



○緊急時の抜け道を決めておきましょう

火事など緊急時の抜け道がない区域では、ご近所の方と、どこを通過して逃げたら良いか、敷地を通らせてもらって良いかなどについて、話し合っておきましょう。

○ご近所と力を合わせましょう

阪神・淡路大震災では、家具や倒壊した家の下敷きになった人の多くが近所の人によって救助されました。日頃からのつきあいを大切にしましょう。



○道路にものを置かないようにしましょう

岸町二丁目には、幅が狭い道路が多くなっています。救急車や消防車が通行し、活動できる道路にするために、普段からものを置かないようにしましょう。

○家族との連絡方法を決めておきましょう

非常時の家族間の連絡方法を決めておきましょう。

○防災訓練に参加しましょう

いざというときに落ち着いて行動するために、日頃から防災訓練に参加しましょう。

○非常持ち出し袋を準備しましょう

3日分程度の水や食料、救急薬品や常備薬など、家庭に合った防災用品を準備しておきましょう。

